

授業科目名	生命科学の歴史と倫理	担当教員	鬼形和道, 並河徹 (他 日程表に記載)		
開講年次及び学期	1年 前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義・スモールグループディスカッション・プレゼンテーション	時間数	30	単位数	2

授業の目的 (概要)

医師、看護師を含む医療人は、個人として、専門職集団として、患者や社会の信頼に値する道徳および倫理を身につけ、行動する必要がある。患者中心の視点より、患者に対して誠実、公正な態度で接し、常に平等な医療を提供し、説明責任と守秘義務の遵守に努め、利益相反の適切な管理が求められる。組織やチームにおいて協調性・リーダーシップを発揮し、相手を理解し、多様な価値観を受容し、適切な役割を担う必要がある。

本科目では、医師、看護師を目指すものとして求められる使命、役割および心構えについて理解を深め、適切に行動するための基本姿勢を修得する。

学修成果 (到達目標)

1. 人の命と健康を守る医師・看護師の職責を説明できる。
2. ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師の職業倫理指針、および医師憲章等医療の倫理に関する規範を概説できる。
3. 患者及びその家族の秘密を守り、医師・看護師の義務や医療倫理を遵守することができる。
4. 患者の基本的権利を説明できる。常に患者中心の立場に立って、患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援することの重要性を理解できる。
5. 患者の心理・社会的背景を理解し、患者及びその家族と良好な関係性を持つことの重要性を理解できる。
6. 患者・家族の話を傾聴し、共感することの重要性を理解できる。
7. 医療チームの構成や各構成員(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制を説明できる。
8. 医療上の事故等(インシデントを含む)や医療関連感染症(院内感染を含む)等を理解し、事故を防止して患者の安全性確保を最優先することの重要性を説明できる。
9. 医療上の事故等を防止するための、個人の注意(ヒューマンエラーの防止)、組織的なリスク管理(制度・組織エラーの防止)の重要性を説明できる。

キーワード

プロフェッショナリズム、職業倫理、医師・看護師の義務、患者の権利、医師患者関係、患者中心医療、医療安全、国際医療・国際協力

授業の進め方

スモールグループディスカッション・プレゼンテーション (アクティブ・ラーニング) を基本とする。

成績評価の方法 (合否基準)

総括評価

小テスト (授業時間内で実施するレポート) 全体に占める割合: 70%
 期末試験 (課題に対するレポート試験) 全体に占める割合: 30%

形成的評価

グループワーク、プレゼンテーション時に担当教員がフィードバックする。
 試験終了後、小テストとレポートを返却する。自己のポートフォリオ評価として、今後の学修に活用する。

合否基準

小テスト、期末試験の総得点を100点満点に換算したうち60点以上を合格とする。

教科書・参考書・視聴覚・その他の教材

医療プロフェッショナリズム教育: 理論と原則 クルーズ (著, 編集), 日本医学教育学会 倫理・プロフェッショナリズム委員会 (監修, 翻訳) 日本評論社, 2012

緒方洪庵一幕末の医と教え 中田 雅博 (著) 思文閣出版, 2009

Medical professionalism in the new millennium: a physician charter. Ann Intern Med 2002;136:243-6.

困ってるひと 大野 更紗 ポプラ社, 2011

Professionalism in Medicine A case-based guide for medical students. John Spandorfer Cambridge Medicine, 2019.

オフィスアワー

月～金

モデル・コア・カリキュラムとの関連

A-1 プロフェッショナリズム

A-1-1) 看護系人材としての使命、役割と責務

ねらい：基盤となる知識を習得し、自分の責任と能力を認識した上で、その範囲内で責務を果たすことを学ぶ。

学修目標：

- ①患者・家族の話を傾聴し、共感することの重要性を理解できる。
- ②医療チームの構成や各構成員の役割分担と連携・責任体制を説明できる。
- ③看護系人材の法的義務を説明できる。

A-1-2) 看護の基盤となる基本的人権の理解と擁護

ねらい：人々の基本的人権をを理解し擁護する必要性を学ぶ。

学修目標：

- ①基本的権利を説明できる。
- ②基本的人権の擁護を説明できる。
- ③患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援することの重要性を理解できる。
- ④患者の心理・社会的背景を理解し、患者およびその家族と良好な関係性を持つことの重要性を理解できる。

A-1-3) 看護倫理

ねらい：倫理の重要性、倫理に関する理論、倫理原則、および思考方法を学ぶ。

学修目標：

- ①人の命と健康を守る看護系人材の職責を説明できる。
- ②患者およびその家族の秘密を守り、看護系人材の義務や医療倫理を遵守することができる。
- ③倫理的課題を解決するための倫理原則と思考方法を理解できる。

授業計画

回	日程	時間	場所	実施方式	授業内容	担当者
1	5.13(水)	13:00~ 14:40	P2	Webex (ライブ)	病の多様性と倫理:文化人類学からのアプローチ	福井 栄二郎 先生
2	5.20(水)	"	"	"	臨床研究への展開、社会への発信	原 正彦 先生
3	5.27(水)	"	"	"	島根で世界を学ぶ意味	岩田 健太郎 先生
4	6.10(水)	"	"	"	プロフェッションと意思決定	和足 孝之 先生
5	6.17(水)	"	"	"	臨床研究の倫理 (研究倫理の原則:「臨床研究」ってどんなこと?)	大野 智 先生
6	6.24(水)	"	"	"	がん哲学	樋野 興夫 先生
7	7.8(水)	"	"	"	レア・ディゼーズ(希少性・難治性疾患)支援の多元化 ー 戦後の難病政策史から21世紀の研究参画まで	渡部 沙織 先生
8	7.15(水)	"	"	"	人道援助活動とは?	加藤 寛幸 先生
9	7.22(水)	"	"	"	色覚の多様性とカラーユニバーサルデザイン	岡部 正隆 先生
10	7.29(水)	"	"	"	島根大学発革新的医療技術の開発	中村 守彦 先生
11	8.5(水)	"	"	"	Professionalism in Medicine A case-based guide for medical students	鬼形 和道 先生
	Moodle参照	"	オンデマンド	ケアリングと看護倫理・看護専門職としての使命、役割と責務	津本 優子 先生	
	Moodle参照	"	オンデマンド	患者の権利、医師の責務と裁量権(患者と医師)	廣瀬 昌博 先生	
	Moodle参照	"	オンデマンド	医療安全・医療の質・医療事故・過誤	廣瀬 昌博 先生	
備考						